

令和8年度第1学期 新潟大学市民開放授業

受講生募集要項

新潟大学では、本学の教育・研究を広く地域社会に開放するため、様々な活動を行っています。その一環として、本学学生向け正規授業の一部を開放し、地域住民の皆様に受講していただくための「新潟大学市民開放授業」を平成14年度から実施しています。受講を希望される方は、次の要項によりご応募くださるようご案内いたします。

1 実施形態

(1) 新潟大学クォーター制

新潟大学は平成29年度から「クォーター制」を導入しています。

クォーター制とは、ひとつの年度を二分した第1学期・第2学期をさらに半分に分けた「クォーター」ごとに授業を行う制度です。

新潟大学ではこのクォーターのことを「ターム」と呼び、「1学期2ターム制」となります。

学期	ターム	授業期間
第1学期	第1ターム	4月8日～6月8日
	第2ターム	6月10日～8月5日
第2学期	第1ターム	10月2日～12月1日
	第2ターム	12月3日～2月12日

(2) 授業の開講形態

科目の特性や学修効果にあわせて①～⑤のパターンで授業を開講します。

どの授業形態で実施されるかは、8～14ページの「市民開放授業実施科目一覧」で確認してください。

① 週2コマ×8週（曜日セット開講）

月曜日と木曜日、火曜日と金曜日など、授業と授業の間に期間を開けて、週2回授業を行うもの。

② 週2コマ×8週（2コマ連続開講）

1・2限連続や3・4限連続など、2つの授業時間をつなげて授業を行うもの。

③ 週1コマ×8週

授業期間が従来の半分となることにともない、1科目当たりの単位数も半分になります。このため、多くの科目は二分割された前半部分と後半部分の両方を複数タームにわたって履修することが基本となります。

④ 週1コマ×16週（2ターム連続開講）

従来どおりの学期単位16週で授業を行うもの。

⑤ その他

上記以外のパターンで開講されるもの

(3) 授業の受講形態

① 対面授業

② リアルタイム型オンライン講義 会議システム (Zoom) による非対面授業

受講には、インターネットに接続できるパソコン、タブレット、スマートフォン等をご用意ください。また、オンライン配信にかかる通信料は自己負担となります。十分な通信環境がない場合、高額な通信料がかかる可能性がありますので、受講にはWi-Fiなどの十分な通信環境が必要です。

[オンライン講義の配信方法]

オンライン会議システム【Zoom】(ズーム)を利用したリアルタイム配信

- ・当日実施している授業をリアルタイム(同時)に受講します。
- ・受講には、Zoomアプリケーションのインストールや操作が必要です(詳細は【Zoom ビデオコミュニケーションズ社】のウェブサイトをご参照ください)。また、音声通話による質問をご希望の場合は、マイク等を備えた機器が必要です。

また、オンライン授業に出席するための授業の情報(URL、パスワード)を受け取るために、新潟大学学務情報システムを使用・操作していただきます。

2 開講期間及び授業時間等

(1) 開講期間(授業実施日は、15ページの「令和8年度新潟大学授業暦」をご覧ください。)

- 第1ターム実施科目 令和8年4月8日(水)～令和8年6月8日(月)まで
- 第2ターム実施科目 令和8年6月10日(水)～令和8年8月5日(水)まで
- 第1・第2ターム連続実施科目 令和8年4月8日(水)～令和8年8月5日(水)まで

- ・各曜日の授業回数を確保するため、5月7日(木)、7月22日(水)は月曜授業、5月8日(金)は火曜日授業、4月27日(月)は水曜授業を行いますのでご注意ください。
- ・6月9日(火)は補講日のため通常授業は行いません。授業担当教員の指示に従ってください。

(2) 授業時間

時限	1	2	3	4	5	6	7
時間	8:45 ～ 10:15	10:30 ～ 12:00	13:00 ～ 14:30	14:45 ～ 16:15	16:30 ～ 18:00	18:10 ～ 19:40	19:45 ～ 21:15

(3) 授業実施場所

①対面授業の科目は新潟大学五十嵐キャンパス(新潟市西区五十嵐2の町8050番地)で実施。講義室はシラバス検索、または教務課教育実施係へお問い合わせください。

②リアルタイム型オンライン授業は通信環境の良い場所で受講ください。

※市民開放受講生は新潟大学の無線LANシステムを利用することができません。

学内で受講する場合は、モバイルWi-Fi、テザリング等をご用意ください。

3 開放する授業科目及び募集定員等

(1) 授業科目

開放する授業科目は8～14ページに掲載しています。

都合により授業の受講形態、曜日・時限を変更したり、開講を取りやめる場合があります。

履修の際は、最新情報を掲載したWebシラバスをご確認ください。

新潟大学シラバス検索 <https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/>

(2) 募集定員

1科目につき若干名とします。

なお、本学学生と一緒に受講していただくこと及び聴講定員の都合から、次の場合は受講できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

- ・本学学生のみで講義室の収容可能人数、Zoomの聴講可能人数を超えた場合
- ・市民開放授業の受講希望が著しく多くなった場合
- ・その他、授業実施上、調整が必要とされた場合

(3) 受講料

受講料については、8～14ページの「市民開放授業実施科目一覧 受講料/円」をご確認ください。

ただし、学校教育法第1条に規定する学校、同法第124条に規定する専修学校及び同法第134条に規定する各種学校に在学中の方は無料とします。申込み時に在学を証明する書類（学生証、在学証明など）の写しを添付してください。

(4) テキスト代、通信料等その他の費用

受講生が授業で使用するテキストの代金、通信料及び授業に係るその他の費用は、受講生の負担となります。十分な通信環境がない場合、高額な通信料がかかる可能性がありますので、受講にはWi-Fiなどの十分な通信環境が必要です。

4 受講手続きの流れ

第1ターム実施科目 第1・第2ターム連続実施科目 を受講する場合	第2ターム実施科目 を受講する場合	内容
<p style="text-align: center;">受講の申し込み 令和8年3月9日(月)～3月19日(木)</p>		<p>○「受講申込書」に必要事項を記入の上、学務部教務課に提出する。</p>
<p style="text-align: center;">受講許可通知等 令和8年4月3日(金)までに新潟大学より交付される</p>		<p>○新潟大学より郵送またはメールにて、受講に必要な情報をお送りします。</p>
<p style="text-align: center;">試聴講期間 令和8年4月8日(水) ～4月14日(火)</p>	<p style="text-align: center;">試聴講期間 令和8年6月10日(水) ～6月16日(火)</p>	<p>○受講許可通知を受け取りましたら、授業に出席し、概要等を確認する。</p>
<p style="text-align: center;">受講をキャンセルされる場合は新潟大学へ連絡する</p>		<p>○必ず受講申込先へご連絡ください。</p>
<p style="text-align: center;">受講料の納付 令和8年4月8日(水) ～4月21日(火)</p>	<p style="text-align: center;">受講料の納付 令和8年6月10日(水) ～6月23日(火)</p>	<p>○受講料を最寄りの金融機関から期限までに納付する。</p>

(1) 募集要項等の確認

「受講申込書」を新潟大学ホームページよりダウンロード、または教育実施係へご請求ください。

新潟大学ホームページ 研究・社会連携 > オープンアカデミー > 市民開放授業
<https://www.niigata-u.ac.jp/contribution/learning/open-course/>

(2) 受講の申込み

3月19日(木)までに「新潟大学市民開放授業受講申込書」に必要事項を記入のうえ、下記のいずれかの方法でお申し込みください。電話による受付は行いません。

- 郵 送 〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地
新潟大学 学務部教務課 教育実施係 市民開放授業担当宛
※期日までに必着となるよう送付してください。
- 持 参 総合教育研究棟A棟1階3番窓口 (平日9:00~17:00)
- E-mail s-kaihou@ge.niigata-u.ac.jp

※メールの受信設定について、ドメイン指定受信をされている場合は上記アドレスおよびパソコンからのメールを受信できるように設定してください。

(3) 受講許可通知等の交付

受講に必要な情報を郵送またはメールします。受講2日前までに届かない場合はご連絡ください。また、受講できない場合にはその旨通知いたします。(☎025-262-6307)

(4) 試聴講期間

- 第1ターム実施科目 令和8年4月8日(水) ~ 令和8年4月14日(火)まで
- 第2ターム実施科目 令和8年6月10日(水) ~ 令和8年6月16日(火)まで
- 第1・第2ターム連続実施科目 令和8年4月8日(水) ~ 令和8年4月14日(火)まで

この期間中に授業の概要等をご確認いただき、**受講をキャンセルされる場合は必ずご連絡ください。**

(5) 受講料の納付

金融機関窓口又はATMにて、受講する授業科目分の受講料を、納付期限までにお振込ください。期限までに受講料の振込がない場合は、受講できません。

振込期間

- 第1ターム実施科目 令和8年4月8日(水) ~ 令和8年4月21日(火)まで
- 第2ターム実施科目 令和8年6月10日(水) ~ 令和8年6月23日(火)まで
- 第1・第2ターム連続実施科目 令和8年4月8日(水) ~ 令和8年4月21日(火)まで

振込先 金融機関名： 第四北越銀行 内野支店
預金種別： 普通
口座番号： 1658281
口座名義者： 国立大学法人新潟大学

※振込手数料は申込者の負担となります。

5 受講に際して

- (1) 欠席について
都合により授業を欠席する場合でも、本学及び授業担当教員へ連絡する必要はありません。
- (2) 休講、補講、講義室変更、受講形態変更について
やむを得ない事情により、講義室や受講形態を変更する、授業を休講する、あるいは補講を行う場合は学務情報システムにてお知らせします。
自宅を出る前に天候不良等で授業が開講されるかどうか心配な場合は、教務課教育実施係【☎025-262-6307】へお問い合わせください。
- (3) 講義資料
授業によっては、授業で使用する資料の配布を、学務情報システムにより行う場合があります。印刷を希望される場合は、教務課教育実施係（五十嵐キャンパス総合教育研究棟 A 棟 1 階 3 番窓口）にお申し出ください。その際、印刷にお時間をいただく場合がありますので、お早めにお越しください。
- (4) 受講生の呼び出し等
受講生の呼び出しは行っておりませんので、あらかじめご承知おきください。また、授業中は携帯電話の電源をお切りください。
- (5) 受講の停止
受講生が受講生としてふさわしくない行為等を行った場合、受講を停止することがあります。なお、受講停止となっても納入済の受講料は返還できません。
- (6) 損害賠償
本学の施設、設備等を破損等したときは、速やかに届け出てください。また、その損害を弁償していただくことがあります。
- (7) 通学方法等
本学では、構内における教育・研究環境の維持や交通事故等の防止対策として、自動車等の入構規制を行っております。可能な限り公共の交通機関をご利用ください。
事情により自動車等を利用して通学しなければならない方は、教務課教育実施係（五十嵐キャンパス総合教育研究棟 A 棟 1 階 3 番窓口）にお申し出ください。
- (8) 学内施設の利用等
附属図書館（中央図書館）及び福利厚生施設（新潟大学生協食堂部、書籍部、購買部等）をご利用いただけます。利用の詳細は、各施設に直接ご確認ください。
- (9) 市民開放授業は、単位の授与は行われません。

6 市民開放授業実施科目

【実施する科目】

科目区分（細区分）	ページ	科目区分（細区分）	ページ
健康・スポーツ（体育講義）	8	自然科学（理学）	9～10
自然系共通専門基礎（数学・統計学）	8	自然科学（工学）	10
自然系共通専門基礎（物理学）	8	人文社会・教育科学（人文科学）	11
自然系共通専門基礎（化学）	9	人文社会・教育科学（教育人間科学）	11
自然系共通専門基礎（生物学）	9	人文社会・教育科学（法学）	12～14

「分野」「水準」について

各科目には、その科目の「分野」と「水準」がそれぞれ2桁の数字（コード）で示されています。「水準」は、10の位で聴講できる対象者を、1の位で授業の水準を示しています。

【分野コード表】

10	情報	51	電気電子工学
13	芸術	52	土木工学
14	健康スポーツ	53	建築学
15	生活科学	54	材料工学
16	科学技術社会論	55	プロセス工学
17	博物館学	56	人間医工学
28	哲学	57	生物学
29	文学	60	農学
30	言語学	61	農芸化学
31	史学	62	林学
32	人文地理学	64	農業経済
33	文化人類学・民俗学	65	農業工学
34	法律学	66	畜産学
35	政治学	70	英語
36	経済学	71	外国語
37	経営学	74	キャリア意識形成
38	社会学	75	新潟大学個性化科目
39	心理学	76	大学学習法
40	教育学	77	課題研究
41	数学	80	基礎医学
43	物理学	81	臨床医学
44	地学	82	社会医学
46	化学	85	看護
47	応用化学	86	福祉
49	工学基礎	87	境界医学
50	機械工学	90	基礎歯学
		91	臨床歯学
		92	社会歯学
		99	その他

【水準コード表】

10の位の数字		1の位の数字	
0	全学の学生を受け入れることが可能な科目	1	大学学習法など、大学での学習を円滑にするためのもの
1	当該学部（学科）の学生に限られる科目	2	高等学校との接続を意識した水準（リメディアル）
2	教員免許など資格に関わる科目	3	通常の大学の基礎的水準
		4	専門の中核的水準
		5	発展的内容の科目で大学院との接続水準

令和8年度 第1学期 市民開放授業実施科目一覧

都合により授業の受講形態、曜日・時限を変更したり、開講を取りやめる場合があります。
履修の際は、最新情報を掲載したWebシラバスをご確認ください。 <https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/>

健康・スポーツ（体育講義）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	262G2037	14	03	健康スポーツ科学講義b	2	水	4	小林 日出至 郎	120	対面	受講者は、保健体育と健康スポーツに関して、実務経験を生かして、理論・健康科学・生涯スポーツ等の観点から、現代社会の課題を理解し、身体教育や健康運動等の教育・文化活動のあり方について学習します。	7,000

自然系共通専門基礎（数学・統計学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	261G5007	41	03	数学基礎B1	1	金	3	星 明考	240	対面	ベクトル、行列や連立1次方程式の解法などを学ぶ。これらは線形数学という分野に属しており、数学における重要な基礎科目であるばかりでなく、自然系および社会系諸分野の基礎科目にもなっている。	7,000
2	261G5008	41	03	数学基礎B1	1	水	3	小島 秀雄	150	対面	ベクトル、行列や連立1次方程式の解法などを学ぶ。これらは線形数学という分野に属しており、数学における重要な基礎科目であるばかりでなく、自然系および社会系諸分野の基礎科目にもなっている。	7,000
3	262G5009	41	03	数学基礎B2	2	金	3	星 明考	240	対面	ベクトル、行列や連立1次方程式の解法などを学ぶ。これらは線形数学という分野に属しており、数学における重要な基礎科目であるばかりでなく、自然系および社会系諸分野の基礎科目にもなっている。	7,000
4	262G5010	41	03	数学基礎B2	2	水	3	小島 秀雄	150	対面	ベクトル、行列や連立1次方程式の解法などを学ぶ。これらは線形数学という分野に属しており、数学における重要な基礎科目であるばかりでなく、自然系および社会系諸分野の基礎科目にもなっている。	7,000
5	261G5012	41	03	統計学基礎1	1	月	5	坂井 一貴	150	対面	<p>情報化が進展し膨大なデータが容易に取得でき、かつ不確実性の高い世の中である現代において、必要なデータを収集し、それを読み解く統計的なもの見方や考え方は自然科学分野に限らず、人文科学、社会科学などの全分野で重要になってきています。</p> <p>また、これらの社会的な変化に伴い、内閣府の「AI戦略2019」において「数理・データサイエンス・AI」はデジタル社会の基礎知識として位置づけられ、すべての大学生に対してリテラシー教育が必要とされました。</p> <p>本講義では、統計学の中で基礎的な部分を占める『記述統計学』について学びます。</p>	7,000
6	262G5013	41	03	統計学基礎2	2	月	5	坂井 一貴	150	対面	<p>情報化が進展し膨大なデータが容易に取得でき、かつ不確実性の高い世の中である現代において、必要なデータを収集し、それを読み解く統計的なもの見方や考え方は自然科学分野に限らず、人文科学、社会科学などの全分野で重要になってきています。</p> <p>また、これらの社会的な変化に伴い、内閣府の「AI戦略2019」において「数理・データサイエンス・AI」はデジタル社会の基礎知識として位置づけられ、すべての大学生に対してリテラシー教育が必要とされました。</p> <p>本講義は「統計学基礎1」の後継科目として、統計学の中で応用部分に該当する『推測統計学』について学びます。</p>	7,000

自然系共通専門基礎（物理学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	260G5016	43	03	物理学基礎A I	1・2	月	5	浅賀 岳彦	95	対面	※詳細はシラバスをご確認ください。	15,000

令和8年度 第1学期 市民開放授業実施科目一覧

都合により授業の受講形態、曜日・時限を変更したり、開講を取りやめる場合があります。
履修の際は、最新情報を掲載したWebシラバスをご確認ください。 <https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/>

自然系共通専門基礎 (化学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	262G5029	46	03	化学基礎B	2	月・木	4	大鳥 範和	150	対面	この講義では、具体例をあげながら原子や分子の集合体としての物質の状態、物質の状態の変化と相平衡、物質の化学変化と化学平衡を取り上げ、これらの諸現象の背景にある基本原理についてわかりやすく解説する。授業の各回において一般的な内容を含んでおり、この科目を履修することにより化学の包括的な内容を習得できる。	15,000

自然系共通専門基礎 (生物学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	261G5032	57	03	生物学基礎A	1	火・金	3	宮崎 勝己	150	対面	生物の構造上、機能上の単位である細胞の働きを理解する。生物を構成する生体物質の構造と性質を学び、その知識を基礎として細胞の構造と機能、エネルギーの流れや物質循環の概念を理解する。本講義の履修を通じて、細胞の観点から見た生物学の一般的内容を学ぶ。	15,000
2	262G5033	57	03	生物学基礎A	2	火・金	2	林 八寿子	150	対面	生物の構造上、機能上の単位である細胞の働きを理解する。生物を構成する生体物質の構造と性質を学び、その知識を基礎として細胞の構造と機能、エネルギーの流れや物質循環の概念を理解する。本講義の履修を通じて、細胞の観点から見た生物学の一般的内容を学ぶ。	15,000

自然科学 (理学)

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	262G6010	41	03	基礎数理A I	2	月・木	4	酒匂 宏樹	150	対面	一変関数の微積分学を学ぶ。工学においても科学においても数学の知識は不可欠で、本講義はその出発点となる。微積分学は様々な方法でとらえることができるが、この講義ではテイラー展開など近似の理論を重視する。授業の後半では積分について学ぶ。	15,000
2	262G6013	41	03	基礎数理A I	2	火・金	4	高橋 剛	100	対面	理工学の諸学問・技術を学ぶための素養として、微積分学は必要不可欠である。この科目では、高校までの数学を前提にして、1変関数の微分法と積分法を中心に概説する。	15,000
3	261S0553	41	03	線形代数IIA	1	月・木	2・3	星 明考	160	対面	線形代数IA, IBの続編として、平面、空間のベクトルを拡張したn次元ベクトル空間について解説する。n次元ベクトル空間は、線形空間の代表であり、一般の線形空間の模型となる。座標、正規直交基底、1次変換、固有値、固有ベクトルなどを学ぶ。また、行列の対角化とその応用についても学ぶ。	15,000
4	261S2530	43	04	特殊相対論A	1	金	2	中野 博章	70	対面	特殊相対性理論は、時間の遅れや、 $E=Mc^2$ などの印象的な側面ばかり強調されてしまいがちですが、ローレンツ変換を軸に数学的に曖昧さなく定式化でき、物理学の様々な分野と密接に関係する重要な学問です。その基礎的な考え方を正確に学び、使いこなせるようになることは、現代物理学を学ぶ上で必要不可欠となります。この科目では、特殊相対性理論の考え方の基礎から応用までを数学的な定式化を通じて解説します。なお、大学初年度レベルの力学、微分方程式やベクトル解析、および電磁気学についての知識は必要とします。	7,000
5	261S3501	46	03	無機化学II	1	火・金	2	後藤 真一	60	対面	前半の無機化学Iで習得した無機化学の原理的概念を基に、主族元素を中心に元素や無機化合物の性質について系統的に講義する。後半は、放射壊変の基本的な事柄を解説する。	15,000
6	260S0583	57	04	機能形態学	1・2	水	2	林 八寿子	40	対面	植物は長い歴史の中で周りの環境に適応し進化を続けてきた。そして、従属栄養生物である動物と異なり、光合成により独立栄養をおこなう特殊な生物である。そこで、この講義では、植物細胞の複雑な構造や機能を知り、動物細胞とは異なる点を明らかにしながら植物細胞の特殊性を学ぶ。また、その細胞からなる植物体の構造や組織を学び、植物体を理解する。	15,000
7	261S0581	44	04	環境気象学	1	火・金	2	本田 明治	40	対面	人間生活に関わりの深い気象学は、様々な自然環境を総合的に理解する上で重要な学問である。本講義では、気象学に関わる基本的で重要な項目について、最新の研究成果も含めた概要を学ぶ。また新潟県の冬の気象を理解する上で不可欠である、降雪・積雪現象についても概観する。	15,000

令和8年度 第1学期 市民開放授業実施科目一覧

都合により授業の受講形態、曜日・時限を変更したり、開講を取りやめる場合があります。
履修の際は、最新情報を掲載したWebシラバスをご確認ください。https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/

自然科学（理学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
8	262S0582	43	04	基礎量子力学	2	月・木	1	副島 浩一	80	対面	赤外線は二酸化炭素には吸収されますが、窒素には吸収されません。これはなぜでしょうか？これに答えるためには量子力学の知識が必要になります。我々のくらす世界と大きくかけ離れたミクロの世界を支配している量子力学は、とっつきにくい（敷居の高い）学問分野だと言われていいます。確かに、「なるほど」と納得するには我々の経験と大きく違っています。しかし現在では、先人の努力によって、かなり系統立てて整備された学問体系が築かれていますので心配にはおよびません。本科目では、量子力学に親しんでもらうということを第一義にして、何に役立っていくのかという出口を示しながら初学者にも分かりやすい講義を心がけていこうと思っています。	15,000
9	262S0556	41	03	線形代数IIB	2	月・木	2・3	鈴木 有祐	160	対面	この講義においては、基礎的な行列、行列式の計算を習得し抽象的な線形空間の概念を学んだ学生を対象に、線形代数IIAの内容をさらに発展させた講義を行う。講義の主題は「行列の標準化」であり、まずは行列の固有値・固有ベクトルの概念を学び、それらの性質を理解する。また、行列の対角化、三角化などの計算方法や理論を学ぶ。さらに、2次形式等への応用等も行っていく。	15,000
10	261G5034	57	03	生物学基礎B	1	月・木	2	杉本 健吉	150	対面	生命の連続性と多様な生命機能を支えているのが遺伝である。本講義では、遺伝の基本的な仕組み、遺伝情報の物質的実体について解説する。	15,000

自然科学（工学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	262G6024	47	03	生活を支える化学技術－化学工学への招待－	2	火・金	2	田口 佳成・他	150	対面	料理は典型的な化学製品製造プロセスである。料理をするとき食材の中ではメイラード反応などの化学反応が起こっているが、料理の際に実際に注意するのは「食材をどのように切るか」「加熱する方法は」「かき混ぜ方は」などであって、化学反応式を意識することはほとんどないだろう。このことは、化学製品を製造するときは、化学反応以外のいろいろなことに配慮しなければならないことを意味している。それらはすべて化学工学の要素である。化学工学は、化学技術を通して環境に優しく生活を豊かにするための学問である。この科目では、暮らしの中のいくつかの題材を取り上げて、化学工学の考え方や手法を解説する。さらに、化学工学が実際の研究でどのように応用されているか、最新研究事例も紹介し、化学工学の広がりや社会的意義を解説します。	15,000
2	261G6026	49	03	放射性廃棄物処理法	1	火	3	日高 昭秀・他	200	対面	原子力発電を行うと放射性廃棄物、いわゆる「核のゴミ」が発生します。その処分法を完全に確立させないまま、これまで原子力発電所を次々に建設してきたため、原子力発電はよく「トイレなきマンション」と揶揄されることがあります。現時点においても、放射能が高い廃棄物については深地層処分するという技術をほぼ確立させたものの、どこに処分するかがまだ決まっていません。本科目では、廃棄物の性状や放射能強度に応じて変わる処理・処分方法等について学習することにより、将来、学生自身が、廃棄物処分まで含めて原子力利用の短所と長所を総合的に考えることを可能にするための幅広い知識の提供を主目的としています。	7,000
3	261G6027	49	03	原子力・放射線物理学入門	1	木	5	大坪 隆	140	対面	原子力の利用に当たっては安全性の確保が大前提であり、そのためには原子力・放射線のみならず、安全に影響する自然災害及びそのリスクマネジメントや災害医療に関する科学的技術的知見を有する人材が必要である。原子力規制又はその関連分野でのキャリア形成を目指すために必要な基礎的事項の内、本科目では放射線の性質とその計測についての基本的事項について学ぶ。	7,000
4	262G6030	49	03	原子力入門	2	木	5	日高 昭秀・他	200	対面	原子力のこれからを考えようとする学生に、原子力の本質を幅広く概説する入門科目です。原子力とは、原子内のミクロ世界から太陽等のマクロ世界で起こり得る放射線と原子核との核反応を中心とした壮大な相互作用を扱う科学技術です。原子力は、19世紀以来、1世紀に渡る研究開発を通じ、社会の多くの分野において、エネルギーだけでなく、医療、食品照射、元素分析等の技術を提供してきました。2011年に福島第一原子力発電所事故を経験した現在、以前の華々しい実績と、原子力の本質的性質、原子爆弾等の負の経験を改めて正しく理解した上で、21世紀文明を支える主要な科学技術の基盤として原子力を更に成長させるか否かが正に問われています。本科目は、そのような問に答えるため、学生自身が自ら考えることを可能にするための幅広い知識の提供を主目的としています。	7,000

令和8年度 第1学期 市民開放授業実施科目一覧

都合により授業の受講形態、曜日・時限を変更したり、開講を取りやめる場合があります。
履修の際は、最新情報を掲載したWebシラバスをご確認ください。 <https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/>

人文社会・教育科学（人文科学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	チーム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	261G7047	10	03	メディアの記号論	1	月・木	4	田中 敦	150	対面	グローバル化と多文化共生が進む現代社会において、多様な経路と手法とで行われる情報伝達に注目し、各種「記号」を通じて送受信される情報メッセージを読み解く視点を学ぶ。	15,000
2	260G7054	30	03	日本語教育Ⅰ－A	1・2	月	3	池田 英喜	50	対面 非対面	日本語を母語としない人たちに外国語として日本語を教えるための基礎を学ぶ。 英語その他の外国語を見ると同じような視点から日本語を観察する。 観察対象は、日本語の音声に関する現象全般に及ぶ。	15,000
3	261G7057	32	03	地理情報科学：基礎編	1	木	5	太田 凌嘉	100	対面	新潟大学は地理情報システム（GIS）のアカデミックライセンスを取得しており、教員と学生は分野を問わずEsri社のArcGIS Proを使用した研究ができる。恵まれた学修環境をいかしてもらうために、この講義では、GISで研究するのに必須となる基礎知識を身につけてもらうとともに、様々な課題解決に有用な分析手法について理解を深めることで、GISを使いこなせるようになってもらう。	7,000
4	260H2010	28	3	古典ギリシア語基礎	1・2	火	1	安田 将	20	対面	古代のギリシア語アッティカ方言の初級文法の前半を学ぶ。・第2学期開講の「人間学基礎演習E」（基礎演習）にて、初級文法の後半を学びます。文法習得をめざす方は、続けて履修してください。	15,000
5	261H2001	39	3	心理学概論A	1	月・木	2	新美 亮輔	70	対面 非対面 併用	心理学の基本的な考え方と研究方法、および現代の心理学に至るまでの歴史的歩みについて概観した後、心理学の幅広い分野のうち感覚と知覚、認知、記憶、学習、発達、神経、精神疾患などの基礎を解説します。「心理学概論B」で扱う社会、集団、パーソナリティ、感情、動機づけ、知能などは扱いません。	15,000

人文社会・教育科学（教育人間科学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	チーム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	260G7062	13	03	ビジネス書道入門	1・2	月	3	岡村 浩	200	対面	様々な欲求の中で ○文字が上手になりたい と思う人々は結構多い。 生まれながらにして人それぞれ手筋があって、生まれながらにして人それぞれ外見や性情が異なるのと、それは同じものである。生まれつき備わった各人の持ち味の中で本授業では特に、「文字を書く時の手くせ」をあらためて見つめ直しその特質を認識し、そして活用することを第一の目的とする。 授業形態は、実技において手本を配布しそれを練習する。希望者には、添削を行う。あと半分、実技ばかりでなくものを鑑賞して見て楽しむ、いわば伝統的心の教育たる面も重視して、そのためのテキストを授業中活用する。	15,000
2	260K5651	32	04	地理学特講Ⅱ	1・2	水	2	北村 繁	40	対面 一部 非対面	火山噴火は多様な現象で、火山災害も多様なものになります。火山噴火のタイプ別に噴火現象とそれに伴う火山災害について紹介・解説します。また、火山の危険性でなく、火山の恵みについても触れ、自然の猛威と恵みが隣り合わせにあることを見つめ直します。	15,000
3	260K6401	14	04	体育原理	1・2	火	1	小林 日出至 郎	56	対面	体育・スポーツ教育に内在する原理的諸問題、概念論、目的・目標論、授業の原則、安全等について概説する。	15,000
4	260K6402	14	04	体育心理学	1・2	月	1	森 恭	80	対面	体育授業の展開や指導に関わる心理的諸問題について概説する。特に運動の制御と学習、動機づけを中心に講義を進める。	15,000

令和8年度 第1学期 市民開放授業実施科目一覧

都合により授業の受講形態、曜日・時限を変更したり、開講を取りやめる場合があります。
履修の際は、最新情報を掲載したWebシラバスをご確認ください。https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/

人文社会・教育科学（法学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	261G7066	34	03	人文社会科学入門（法学）	1	水	3・4	喜友名 菜織・他	240	対面	本科目は、これから主として法学を学ぼうとする学生を対象にした、転換・導入教育科目である。3人の教員のオムニバス方式による講義形式で実施し、憲法の入門、民法の入門、そして刑法の入門となる内容について概説する。	15,000
2	262L3001	34	03	憲法Ⅰ	2	水	1・2	上村 都	300	対面	日本国憲法の人権保障について概観する。本講義では、具体的事例を挙げながら、人権保障の内容とシステムについて考えてゆくことにしたい。憲法学に関する基本的事項についても概説する。	15,000
3	261L3003	34	03	憲法Ⅲ	1	月	1・2	盛永 悠太	300	対面	※詳細はシラバスをご確認ください。	15,000
4	261L3007	34	04	行政法Ⅲ	1	水	3・4	宮森 征司	200	対面	本講義では、行政法のうち、「行政手続法」と「行政組織法」に当たる部分を扱う。「行政手続法」については、同法の規律内容を中心に、「行政組織法」については、行政組織法の理論（行政主体論、特殊法人論など）、国家行政組織法・内閣法、公務員法、公物法を扱う。本講義では国レベルの議論を中心的に扱うが、必要に応じて、地方レベルの議論にも言及することがある。	15,000
5	262L3008	34	04	特殊講義（国家補償法）	2	水	3・4	宮森 征司	200	対面	本授業では、行政法のうち、「国家補償法」と呼ばれる分野を扱う。	15,000
6	262L3009	34	04	自治体法	2	金	3・4	宮森 征司	150	対面	地方自治の基本法である地方自治法について概説する。	15,000
7	261L3010	34	04	租税法	1	木	3・4	今本 啓介	50	対面	租税法のうち、租税法総論、所得税法、法人税法について講義を行う。	15,000
8	262L3102	34	03	民法Ⅱ	2	月	1・2	岩岸 勝成	300	対面	※詳細はシラバスをご確認ください。	15,000
9	261L3104	34	03	民法Ⅳ	1	水	1・2	林 滉起	300	対面	本講義では、講学上「債権総論」と呼ばれる分野のうち、債権の種類、債務不履行に基づく損害賠償責任、受領遅滞、債権者代位権、詐害行為取消権、第三者による債権侵害を中心に扱う。「債権総論」のそれ以外の内容については、民法Ⅴ（債権総論2）の対象となる。	15,000
10	262L3105	34	03	民法Ⅴ	2	金	1・2	田中 幸弘	250	対面	※詳細はシラバスをご確認ください。	15,000
11	261L3108	34	03	民法Ⅷ	1	金	3・4	喜友名 菜織	300	対面	本講義は、民法第4編「親族」について取り扱う。家族関係の成立・解消、および、家族間の権利義務関係が民法ではどのように規律されているかを概説する。併せて、現代社会における家族の多様化・個人化の進展をふまえ、家族の法的保護に関する社会的課題についても検討する。	15,000

令和8年度 第1学期 市民開放授業実施科目一覧

都合により授業の受講形態、曜日・時限を変更したり、開講を取りやめる場合があります。
履修の際は、最新情報を掲載したWebシラバスをご確認ください。https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/

人文社会・教育科学（法学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
12	261L3111	34	04	民事訴訟法Ⅰ	1	金	1・2	篠原 淳一	150	対面	「民事訴訟法Ⅰ（総論）」として開講する本科目は、民事訴訟法の入門編に相当する。後述の指定教材（特に、司法研修所監修「第4版 民事訴訟第一審手続の解説」）を使用して民事訴訟手続（民事執行、民事保全の手続も含む）の仕組みの骨格や、民事訴訟における各種の基本的な考え方（原理・原則）を概説する。 なお、「民事訴訟法Ⅱ（各論）」は、重要論点の解説を中心とする発展編に相当する。	15,000
13	261L3115	34	04	会社法Ⅱ	1	木	1・2	酒巻 雄司	150	対面	本講義では、会社法Ⅰに引き続き、会社法について講義を行う。本講義ではまず、株式（総説、株式の譲渡等）について説明した後、資金調達（募集株式の発行、新株予約権等）を取り上げる。また、株式に関連して、金融商品取引法の概説も行う。	15,000
14	262L3116	34	04	会社法Ⅲ	2	木	1・2	酒巻 雄司	150	対面	会社法は商法の主要な部門である。この講義では「会社法」における会計、資本と剰余金との関係、会社の設立、組織再編について取り上げる。会社の設立は、いわゆる準則主義に基づくものであるが、関係者の利害と設立後の会社との関係において重要な部分である。また、近時の企業活動の多角化などを目的とした組織再編は、会社法における重大な関心事となっている。	15,000
15	262L3118	34	04	特殊講義（企業取引法）	2	火	1・2	内田 千秋	150	対面	本講義は、企業取引に特有のルールとして、商法第1編の「商法総則」および第2編「商行為」の内容について学ぶものである。商法総則・商行為法は、取引一般について定める民法の特別法にあたる。本講義では、民法のルールと対比しつつ、商法総則・商行為法の特徴を指摘する。また、企業取引の実務において、商法総則・商行為法がどのように問題になるのかにも触れる。	15,000
16	262L3201	34	03	刑法Ⅰ	2	火	1・2	根津 洗希	300	対面	本科目は、講学上「刑法総論」と呼ばれる学問領域の前半部分を対象とする。「刑法総論」は、犯罪と刑罰に関する一般原則及びすべての犯罪に共通する成立要件を明かにすることを目的としているが、本科目では、そのうち、「故意の単独犯が犯罪を既遂に至らせる」場合における犯罪の成立要件、つまり、犯罪の基本形態の成立要件について学ぶ。 なお、本科目の続編である「刑法総論」の後半部分は、「刑法Ⅱ（刑法総論2）」において扱われる。	15,000
17	262L3205	34	04	刑事訴訟法Ⅰ	2	金	3・4	稲田 隆司	150	対面	刑事手続の全体像と基本理念を確認した上で、主として犯罪捜査の流れを概観しつつ、これら一連の手続内に共通する論点・問題および個々の捜査手法それぞれに固有の諸論点・諸問題について検討する。	15,000
18	261L3402	34	04	情報法Ⅰ	1	月	1・2	鈴木 正朝	150	対面	※詳細はシラバスをご確認ください。	15,000
19	262L3404	34	04	情報セキュリティと法Ⅰ	2	水	3・4	須川 賢洋	150	対面	情報とセキュリティの関係性を法律と技術の両方の見地から考察する。コンピュータ・サイバー犯罪に関する法律や、企業・組織における情報を保護するための法律、情報を安全に活用するための法律を中心に扱う。	15,000
20	262L3306	34	04	労働法Ⅰ	2	金	1・2	木南 直之	150	対面	現代社会において生活する際には「労働」とのかかわりは不可避なものとなっている。こうした労働関係・労使関係のルールを定めた「労働法」のうち、本講義では、労働組合が関係しない領域、即ち、個々の労働者と使用者との関係に関する問題について取り扱う。従って、労働基準法、労働契約法等が講義の主たる対象となる。	15,000
21	262L3502	34	03	法社会学	2	木	1・2	田巻 帝子	250	対面	法社会学は、法が実際の社会とどのようにかわり機能しているのか、また法をめぐる社会現象はどのような（法的な）システムやメカニズムで説明することができるのかなど、法と社会との相互作用について探求する学問である。実定法の法解釈学とは異なり、社会のさまざまな「現実（実態）」について客観的・経験的なデータを用いて明らかにしようとする経験的社会科学であり、「基礎法学」の一分野である。	15,000

令和8年度 第1学期 市民開放授業実施科目一覧

都合により授業の受講形態、曜日・時限を変更したり、開講を取りやめる場合があります。
履修の際は、最新情報を掲載したWebシラバスをご確認ください。<https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/>

人文社会・教育科学（法学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
22	261L3601	35	03	政治学Ⅰ	1	月・木	5	益田 高成	250	対面	政治学の導入科目に位置づけられる本講義では、政治学という学問に初めて触れる学生を対象に、政治学の基本となる概念や考え方、理論を紹介しつつ、制度と動態の両面から現代の日本政治を解説する。	15,000
23	262L3602	35	04	政治学Ⅱ	2	月・木	5	益田 高成	250	対面	政治過程論とは、政治をめぐる一連のプロセスにおいて展開される、有権者、政治家、政党、官僚、利益団体、マスメディアなど多様な政治アクターの行動とその相互作用を客観的に記述し、政治現象の説明を試みる政治学の一分野である。20世紀初頭に誕生したこの分野では、市民の利益表出の手段とその経路、有権者の支持をめぐる政治家・政党の競合関係、政策形成における官僚の働き、諸集団間の利益調整メカニズム、マスメディアが世論に与える影響など、政治の諸局面に関する研究が幅広くなされてきた。本講義では、これまで政治過程論の分野で蓄積されてきた各種の研究成果を紹介しながら、政治の動態を解説していく。	15,000
24	261L3604	35	03	比較政治	1	木	1・2	李 兼哲	40	対面	政治学の一分野である比較政治学は、複数の国や地域の政治を比較することによって、そこにみられる因果関係を明らかにし、普遍的な理論を導き出すことを目指す学問である。すなわち、地域や時代を超えて生起する多様な政治現象を分析し、その変遷や現状に対する理解を深めることが、比較政治学の重要な目的である。 本講義では、多岐にわたる比較政治学のテーマの中から、国家、民主主義、権威主義を主要な分析対象として取り上げ、日本を含む世界各国・地域の政治を理解するための理論および具体的事例について検討・考察を行う。	15,000
25	262L3702	35	03	行政学Ⅰ	2	木	3・4	馬場 健	250	対面	行政学は、制度、管理、政策の各視点から形成される。本科目では、西尾勝『行政学』を教科書として利用しながら、これら各々視点から行政活動を分析する基本的な概念、用語について概説する。	15,000
26	261L3001	34	04	特殊講義（教育法）	1	火	1・2	近藤 明彦	150	対面	教育法は、教育制度に固有の法体系を指す。 本講義では、学校教育に関連する法体系・法制度の基礎を学習するとともに、学校教育に生ずる諸テーマについて、法的見地からの検討を行う。 なお、本科目は、法曹実務の経験を有する教員が、学校教育に関わる法的紛争の実務経験を活かして授業を行う。	15,000
27	262L3309	34	03	国際人権法	2	水	1・2	渡辺 豊	150	対面	人権を主たる規律対象とする国際人権法は、様々な分野にわたり多様な規範内容を包含している。また同時に人権は多様な価値観が反映される場でもある。本講義では国際人権法の全体像を理解するために、国際人権基準について①国際的実施措置、②国際人権法の規範内容、③国内への影響、に分けて概観する。 何がいまだのように問題となっているのかを理解できるように、制度の説明だけでなく具体的な事例や時事問題をできるかぎり交えることで、人権のアクチュアルな問題を実践的に考えることを目指す。	15,000

(2026)
令和8年度新潟大学授業暦

休業(講)日
 _____ 補講日等
 () 試験日
 授業振替日

第1学期

第2学期

	第1学期								第2学期																		
	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土												
4月				1	2	3	4	第1ターム 4月8日～6月8日	4/3入学式、4/6～7ガイダンス 4/27 水曜日授業振替	10月				1	2	3	第3ターム 10月2日～12月1日	10/1 秋季入学式、ガイダンス 10/13 月曜日授業振替									
	5	6	7	8	9	10	11				4	5	6	7	8	9			10								
	12	13	14	15	16	17	18				11	12	13	14	15	16			17								
	19	20	21	22	23	24	25				18	19	20	21	22	23			24								
														25	26	27	28	29	30	31							
5月						1	2	5/7 月曜日授業振替 5/8 火曜日授業振替	11月	1	2	3	4	5	6	7	11/6 火曜日授業振替										
	3	4	5	6	7	8	9			8	9	10	11	12	13	14											
	10	11	12	13	14	15	16			15	16	17	18	19	20	21											
	17	18	19	20	21	22	23			22	23	24	(25)	(26)	(27)	28											
	24	25	26	27	28	29	30			29	(30)																
31																											
6月		1	(2)	(3)	(4)	(5)	6	6/1 開学記念日 第2ターム 6月10日～8月5日	12月			(1)	2	3	4	5	第4ターム 12月3日～2月12日	12/27～1/6 冬期休業									
	7	(8)	9	10	11	12	13			6	7	8	9	10	11	12											
	14	15	16	17	18	19	20			13	14	15	16	17	18	19											
	21	22	23	24	25	26	27			20	21	22	23	24	25	26											
28	29	30					27	28	29	30	31																
7月				1	2	3	4	7/22 月曜日授業振替	1月						1	2	1/14 月曜日授業振替 1/15、18大学入学共通 テスト準備・復元のため 休講 1/22 月曜日授業振替										
	5	6	7	8	9	10	11			3	4	5	6	7	8	9											
	12	13	14	15	16	17	18			10	11	12	13	14	15	16											
	19	20	21	22	23	24	25			17	18	19	20	21	22	23											
26	27	28	29	(30)	(31)		24	25	26	27	28	29	30														
8月							1	8/11～9/30 夏期休業	2月		1	2	3	(4)	5	6											
	2	(3)	(4)	(5)	6	7	8			7	(8)	(9)	(10)	11	(12)	13											
	9	10	11	12	13	14	15			14	15	16	17	18	19	20											
	16	17	18	19	20	21	22			21	22	23	24	25	26	27											
	23	24	25	26	27	28	29			28																	
30	31																										
9月			1	2	3	4	5	9/24 秋季卒業式	3月		1	2	3	4	5	6	3/11～3/31 春期休業 3/23 卒業式										
	6	7	8	9	10	11	12			7	8	9	10	11	12	13											
	13	14	15	16	17	18	19			14	15	16	17	18	19	20											
	20	21	22	23	24	25	26			21	22	23	24	25	26	27											
27	28	29	30				28	29	30	31																	

授業週数							授業週数						
第1ターム	8	8	8	8	8		第3ターム	8	8	8	8	8	
第2ターム	8	8	8	8	8		第4ターム	8	8	8	8	8	

昼間コース	
1限	8:45 ~ 10:15
2限	10:30 ~ 12:00
3限	13:00 ~ 14:30
4限	14:45 ~ 16:15
5限	16:30 ~ 18:00

夜間主コース	
6限	18:10 ~ 19:40
7限	19:45 ~ 21:15